

12月の図書館開館について

12月2日～9日 8時半～19時
 10日～20日 8時半～16時半
 ただし、学校休校日と12月5日は閉館します。
 12月21日～1月8日まで閉館します。

1月9日
 から、通
 常通り開
 館しま
 す。

2024年4月～11月

学年別貸出冊数トップ3

今年度の4月～11月末までの貸出冊数の多いクラスを紹介します。1年生は4月のオリエンテーションで全クラス必ず1冊借りてもらっているの、自教室は図書館からは遠い場所ですが、学年としてトップの貸出冊数(908冊)となっています。これには、図書委員さんの活躍も、重要な要因となっています。2年生の読書への関心は高く、2年O組、N組は天理高校貸出数では、圧倒的な数で1,2位となっています。3年生は、入試に向けた取り組みでの図書館利用が多いのが特徴です。小論文対策や、自習などで放課後図書館を利用し、すきま時間に読書をするという穏やかな時間を過ごしている方が多いなあと思います。

図書館は、本の貸出をする場所だけではなく、自分だけの時間をゆっくりと過ごす場所でもあります。最近、図書館に行っていないと思う人、ぜひ、天高図書館に、立ち寄ってください。新しい発見があると思います。

第1学年

★1位 F組 (115冊) ★2位 G組 (104冊) ★3位 D組 (101冊)

第2学年

★1位 O組 (217冊) ★2位 N組 (173冊) ★3位 G組 (71冊)

第3学年

★1位 F組 (91冊) ★2位 G組 (74冊) ★3位 H組 (72冊)



今月のいち推し本

『宙わたる教室』伊予原新 文芸春秋

10月からNHKでドラマ化され、どんなドラマだろうと原作を読み始めたら、先が気になって仕方がなく、気づいたら、明け方になっていました。それくらい、面白くて、感動する作品です。

物語の舞台は定時制高校。年齢、家庭環境、国籍など、それぞれ異なり、様々な事情を抱えた高校生が、ある信念を持った教員と出会い、それぞれの未来を見つけてゆく物語です。この本の中に、火星のことがしばしば出てきます。「火星の夕焼けは青い」「オポチュニティの轍」「ランパート・クレーター」など、今まで、まったく知らなかったこと、また知ろうとしなかったことが急に気になって仕方なくなりました。今では、私の携帯の待ち受けは「オポチュニティの轍」の写真になっています。

この本の中に、J.P. ホーガン著『星を継ぐもの』、マッド・デイモン主演で映画化された「オデッセイ」の原作、『火星の人』が紹介されていて、併せて読みたくなりました。

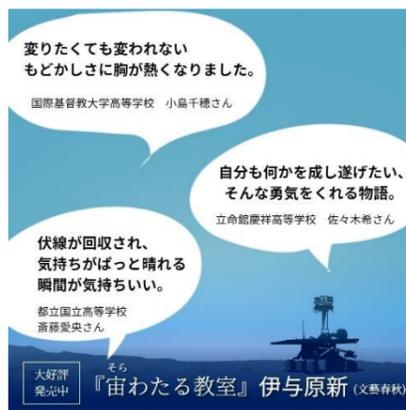
興味、関心は年齢や環境に関係なく沸き起こってくるもの。そして、そんな同じ思いを持った人が集まれば、新たな発想が生まれ、一人では気づかなかったことを発見し、未来へとつながってゆく。そのことに気づかせる貴重な本です。実話に着想を得た作品で、実験の描写がリアル！この冬、ぜひ読んでほしい1冊です。



図書委員会主催による

「青空図書館」開催！！

11月12日(火) 12時50分から総合体育館前で、「青空図書館」を開催しました。図書委員が中心となって企画した移動図書館です。選書、ポスター作成、放送による告知、来館者へのプレゼントのしおり作り、絵本の読み聞かせ、貸出業務、本のカバーかけなど、全て図書委員によって実施されました。晴天の暖かいお昼休みで、文字通り青空の下での、図書館開館となりました。来館者数は昨年を超える人数で、正確には数える事はできませんでしたが、のべ50名以上の方は来てくださっていました。その中には飛び入りで、読み聞かせをしてくれる方もいて、にぎやかに、そして楽しく終える事ができました。「毎日、この場所に来てほしい!」と、うれしい言葉をかけてくださる方もあり、大変有意義な時間となりました。これからも「本が身近になる図書館」を目指して、図書委員会活動に取り組んでいきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。



「青空図書館」での様子

11月25日(月)から冬休み長期貸出を開始しました。一人10冊まで借りることができます。返却日は、1月9日始業式です。この機会に一度図書館に来て、本との出会いを楽しんでください。

